

財津 港ですが、産業に携わっている方は詳しいですが、一般主婦から見ますと、遠い感じがします。親しみのある港のまち留萌であってほしいですね。

暮らしやすさ・まちなみ

市長 これからのまちづくりで、最も大切なことは、市民の皆さんが暮らしやすいと思えてくれるまちでなくてはならないということです。そのため、下水道の整備や道路、公園、スポーツ施設、レクリエーション施設、新しい方式のゴミ処理施設など、必要な施設の整備に取り組んでいきたいと思っています。



親しみのある港がいいです

井手 自然が壊れない方法が必要ですね。

市長 景観を考えると、特に商店街はそのまちなみ顔だと思っています。短期間に多くのお金をかけて取り組んだところもありますが、留萌の場合は難しいと思いますので、年数をかけてやっていかねばならないと思います。

井手 自然が壊れない方法が必要ですね。

市長 景観を考えると、特に商店街はそのまちなみ顔だと思っています。短期間に多くのお金をかけて取り組んだところもありますが、留萌の場合は難しいと思いますので、年数をかけてやっていかねばならないと思います。



留萌のレベルアップを

対馬 まちなみデザイン会議の意見がまとまったと思いますが、強制力

みんなが助け合う地域づくりが必要であり、地域のコミュニティやボランティア活動など、行政と一体となった地域活動が必要ですね。

市長 災害のときは職員も被災者の場合があり、行政だけでは十分手が回らない状況も考えられますので、お年寄りや障害をもつ方を考えた場合、地域の皆さんとの協力を含め、対策を考えていかなければなりません。

財津 ごみ処分場から出る固形燃料などは、市立病院や老人ホームで利用できたと思います。留萌は風の強いまちですから風力を利用した何かできないでしょうか。温水プールにも利用できないものではないでしょうか。

市長 ごみの固形燃料については、ごみ処理場自体でも多くのエネルギーが必要なので、自家利用するとすれば理想的なりサイクルとなります。どのようにするか利用方法は、今、研究しているところです。

井手 やすらぎ部会のなかで、市立病院の医師の固定化をすすめたいという意見が多かったのですが。

市長 医師の異動というのは、大学の医局との関係である程度やむを得ないのですが、留萌市立病院は、他の病院と比べると比較的安定していると思っています。いずれにしても市民の皆さんに安心してかかっている

がないと結局は提言だけで「やる人はやる、やらない人はやらない」となってしまうので、是非条例を作ってほしいと思います。

京都などはまちなみの景観を損なうとして強制的に変えさせられます。そうしないと景観が壊されるということですね。市民からの要望、意見があるとありますが、ある程度のコンセンサスを得た中で条例を作りたいと思います。

市長 建物などは、個人の財産権ともからむので、強制は難しい問題がありますが、全体としてこういうまちをつくらうじゃないかという方向をきちっと示して、皆さんに協力を求めることだと思います。市民の皆さんに理解していただきながら進めたいと思います。

文化かおるまちづくり

市長 最近のニュースでは、佐賀番屋の漁撈具が、文化庁から民俗重要文化財に指定を受けました。いずれは建物を含めあの場所一体を、かつてニシンの漁場として栄えた留萌のまちの歴史を後世に残す格好の文化財として整備していきたいと思っています。

田村 そのそばに付帯設備を作るの

ただける病院づくりをめざして、医師や看護婦、関係職員が一丸となって頑張っているところです。

また、これから高齢化社会が進むにつれ、福祉対策の充実が必要ですので、訪問看護ステーションや在宅介護支援センター、ホームヘルパーなど、高齢者ができるだけ自宅で暮らせるような支援策をすすめています。

しかしながら、高齢者福祉対策は、行政のやることだけではなかなか完全なものにはなりません。

地域の皆さんの協力も必要であり、地域と行政が力を合わせてすすめていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

現在、五十嵐町で市営住宅の立替えをしています。シルバーハウジングというお年寄りが住みやすい住居を30戸組み入れています。また、保健福祉センターも敷地の中に配置し安心して暮らせる施設づくりを考えています。

まちなみ・景観

財津 留萌のまちはさびしく、殺風景だと思っています。私たちの意見の中で「柳の木」を要所要所に植えたらどうかという意見がありました。が、



商店街の景観を考えたい

落ち葉の問題もあるのでしょうか。

市長 緑というのはまちなみの景観上、大変重要な役割をもっていますので、留萌のまちを何とか緑の多い町にしたいということで、緑化推進の計画作りをしていますので、是非市民の皆さんにご協力をさせていただきたいと思っています。

落ち葉は、皆一緒になって清掃しましょう。

田村 美瑛町では、町の真中の商店街で建物を取り壊して建て直すときに、必ず三角を付けることにしたんですね。まちの人たちが統一を図り、商店街と町と一体となって取り組んでいました。

留萌も雄冬から入ってきたときに、まちなみ景観がすばらしいといいですね。

道路拡幅の際にも、出来上がったからでは難しいので動くときにあわせてできたらいと思っています。よく「海のふるさと館」の周りに



インパクトのある観光を

は難しいですか。

市長 現在残っている漁具などをいずれは多くの皆さんに見ていただく施設を作らなければならないと思っています。

単に保管しておくだけでなく、できるだけ多くの皆さんに見ていただきたいと思っています。

留萌の観光のこれから

対馬 私は観光協会の方もやっていますが、留萌の歴史や文化、自然環境を、どう観光に活かしていくか、さらに地場産業との結びつきなど、難しい問題があると思いますが、ミックスしたものでなければ、インパクトのある観光につながっていかないとはいけません。

佐賀番屋についても、観光施設として活用していただきたい。中途半端に、単に資料を展示する施設だけ

では意味がないと思いますし、発展的に観光に結び付けて考えていただきたいと思っています。

田村 観光の部分なんです。これから計画をつくる段階で、マスタープランが必要だと思います。

海のないところの人は、海を見るだけで感動しています。海のある留萌人は、すばらしい自然をないがしろにしているのかもしれない。海にくる人を大切にしなければならぬと思います。

財津 留萌の産物を安く提供する場所づくりも必要です。

市長 文化や観光についてご意見ができましたが、現代の観光というのは、単に、風光明媚だけではうまくいきません。その地域が持っている総合力が問われる時代だと思います。例えば、歴史的・文化的な遺産、おいしい食べものや土産などの物産、土地の人々の暮らしぶり、自然とのふれあいなどです。その土地のどんな魅力を提供できるかが決め手ですね。

そういう点では、受入れ体制が現状のままでは不十分だと思いますので、物産館をはじめ、留萌の文化や歴史を理解していただくような施設、海という自然にひたれるような環境などの条件づくりをしていかなければならないと思います。

市長 私が嬉しかったのは、留萌ら